



提出物は大丈夫？「わずか2分の遅れで…」より



2学期が始まり、1週目が終わりました。今週は、教科によっては夏休み明けテストが行われたと思いますが、夏休みの学習の成果を発揮することはできたでしょうか？ 今月には中間考査がありますので、1学期を通して見えた課題を振り返りながら、まずは日々の授業を大切にすることから始めていきましょう。

さて、スタートアップ期間や始業式の場面で、夏休みの課題の提出がありました。教科以外の課題では、弁論大会の原稿作成や「忘れないぞう」の夏休みの記録も課題として出しました。昨年度の『かわらばん』でも、提出物を出すことをテーマに取り上げましたが、改めて、**なぜ期限内に提出物を出すことが大切なのか**について考えてみたいと思います。以下の文章は、とある大学の学生が、卒業論文を決められた締め切り時間に間に合わず、卒業することができなかったエピソードです。これは実際に起きた話で大きな話題となり、新聞記事にも取り上げられました。また、このエピソードは道徳の授業の教材にもなったことがあるものです。実際に読んでみて、このエピソードに対する自分の意見を考えてみましょう。

「わずか『2分の遅れ』で…」

教員採用試験にも合格していた教育学部の男子学生(23)が卒業論文提出締め切り時間に2分遅れたため、論文を受けつけてもらえなかった。

同学部では例年1月末が卒論の締め切り。以前から締め切り時間に厳しく、これまでも何人かの学生が卒業延期を経験している。

今回の学生は1月31日、原稿用紙80枚の卒論をやっと仕上げ大学に持参した。大学内の研究室で友達に手伝ってもらい、とじ込みをしたが、遅れそうになったため、タイムリミットの午後5時少し前、提出窓口の教務係へ事情の説明に行ったところ、「とにかく現物がなければダメ」と言われ、あわてて取りに戻ったが、すでに時計の針は5時を2分回っており、頼み込んだが、結局、受け付けてもらえなかったという。

この問題は卒業資格の条件を検討する会議で話し合われたが、不可と判断された。しかし、この学生の担当教官は「まじめな学生、何とか救済の道を」と卒業判定会議である教官会議に再び検討を申し出た…。

教官会議の中で、学生を救ってあげたいという教授たちは、「本人は一生懸命努力した。ミスとしてはわずかなもので、寛容さも教育には必要なのでは。」かんよう「教育の場でこんなに人の一生を左右して良いのか」と処分の変更を求めた。

しかし、一方では「2分ならいいが10分ならダメというふうになったら歯止めが利かない」「努力したのだからということになれば、普通の試験も同じことになる」といった反対や「2分ぐらいというが、その重みを知らない人が、人にものを教える教師になるのは困る」「大学の教育は自分たちで作った規則を守るという約束の上に成り立っている。」との意見が出され対立した。

2分の遅れに対する決断、あなたはどうか考える？

約百人が出席したこの会議、2時間近くにわたって「2分の遅れ」について議論されたが、結局、卒業を認めないことで決着した。秋まで卒業延期、春から教壇きょうだんに立つ夢もなくなった。

この学生は、小学校の教師を目指し、その年の教員採用試験にも合格、採用予定者として名簿に載っていたが、「今春卒業」が条件だったため、辞退した。

しかし、教師になる夢は捨てておらず、再チャレンジするという。

読んでみていかがだったでしょうか？ 皆さんは文中にある「2分の遅れに対する決断、あなたはどうか考える？」にどのように答えますか？ 卒業を認めないことに賛成だと、「わずか2分でもきまりは守るべき」、反対だと「思いやりに欠ける」「例外も認めるべき」などといった意見が出ると思います。しかし、この題材で考えてもらいことは、実際にこうしたことは現実として起こり得る、ということです。例えば、3年になると高校受験に必要な書類を期日内に提出することが求められる場面が訪れますが、期日を少し遅れてしまったために、高校を受験すること自体が認められないケースもあるのです。中学校までは義務教育なので、多少の失敗でも大人が守ってくれますが、高校や大学、社会人になっていくと、自分の行動には「**自己責任**」が伴っていきます。今回紹介した事例も、まさに「自己責任」の名の下にわずか2分の遅れで卒業を認めてもらえなかったということです。こうしたことにならないためにも、中学校のうちに提出物を期日内に出す習慣は身に付けていく必要があります。提出物といっても、各教科で出る課題だけではありません。学習の記録、行事の参加確認書、給食の申込書、三者面談の希望調査など、保護者に記入してもらわないといけない書類は、受け取ったらすぐに保護者にお渡しして、期日に間に合うように書類を用意しなければいけません。それは来年度の進路関係の書類でより一層求められます。提出期日になって、「忘れたので明日出してもいいですか？」「再登校して持ってきます」というのではなく、**期日内に出すこと自体を当たり前行動**にしていきましょう。こうした行動も、学年目標である「**自律**」していくために必要なことなのです。

■来週の予定（9／9（月）～9／14（土））

月 日	組	1	2	3	4	5	6	備 考
9/9 (月)	A	総合	体育	社会	英語	国語2	数学	生徒会朝礼 安全指導 放) 合唱コン実行委員
	B		国語2	数学	体育	理科1	社会	
	C		社会	体育	英語	理科2	数学	
9/10 (火)	A	美術	理科2	体育	国語2	数学	総合	あいさつ運動(始) タブレット持参 ※試験2週間前
	B	英語	体育	社会	理科2	国語2		
	C	理科2	国語1	体育	理科1	数学		
9/11 (水)	A	英語	社会	理科1	国語1	道徳		研修会 水曜サブリ 放) 審査委員会
	B	理科1	英語	数学	美術			
	C	英語	理科1	国語2	社会			
9/12 (木)	A	英語	社会	家庭	体育	数学	国語2	放) 合唱コン実行委員 ヤギカフェ
	B	国語2	英語	体育	家庭	音楽	社会	
	C	英語	家庭	理科2	体育	数学	音楽	
9/13 (金)	A	英語	理科1	技術	数学	音楽	学活	あいさつ運動(終)
	B	技術	英語	数学	国語2	国語1		
	C	英語	技術	美術	数学	社会		
9/14 (土)		防災教育の日 〔柳沢あんぜんの日〕						ジャージ登校 タブレット持参

※予定の変更等は、朝・終学活等で連絡します。_____は授業変更の箇所です。